

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名：超高压電子顕微鏡センター

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

【評価区分1：部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		「超顕微科学研究拠点事業」において、4件の共同研究を実施し、異分野融合・新分野創成を目指した研究活動を進めている。また、物質・材料科学研究ではナノ構造・形態を制御・創製したり、医学・生物学研究において、タンパク質を立体観察する手法の開発を行ったりするなど、基盤的研究に成果を上げ、論文発表(材料科学19編など)を行ったことが評価できる。
【社会貢献】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		「ナノテクノロジープラットフォーム事業」等により、合計133件の利用課題を実施するなど、学内共同教育研究施設の枠を超えた研究支援活動を行っている。また、ダイキン協働研究所と「電子顕微鏡を用いた金属の解析」について取り組み、産業界の技術課題の解決に貢献する産学共創イノベーションに貢献していることが評価できる。
【グローバル化】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。

【評価区分2：「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 常勤教員一人あたりの論文数について、高い水準であるとともに前年度実績から向上させたことが評価できる。 また、共同研究・受託研究の受入件数について、前年度実績から向上させたことが評価できる。</p>
--